

明海大学 不動産学部

不動産の不思議

第56回

学生たちの視点と発見

【学生の目】

ヒートアイランド現象による都市部の温暖化が年々問題になってい

る。都心部で熱帯夜が続くことよ

って体調を崩す人が増える一方、エアコンな

どの空調によるエネルギー消費が増大している。便利で豊

かな都市の形成と引き換えに、本来自然が担ってきた調和が崩れてしま



今川 史野

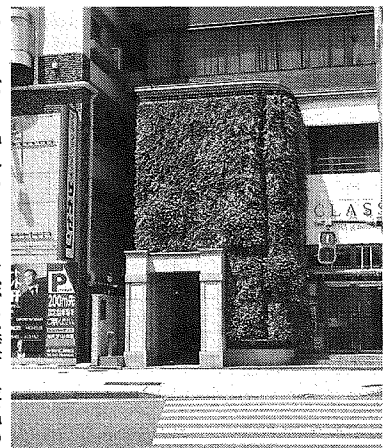
不動産学部1年

壁面緑化

推進力は利用者の意思表示

車場緑化はその一例である(西浦巨太「不動産の不思議第19回2月4日号」)。駐車場緑化が平面的であることに対して立体的な取り組みとして壁面緑化がある。

浦安駅からやなぎ通りに出ると、この辺りでは珍しい、壁が植物と花で覆われたビルが目に入った(写真)。ビルのエントランス全体をまんべんなく緑で覆っていて、濃



緑の景観には心理効果もある

い緑色から夏を感じさせてくれる。壁面緑化には都市のクールダウンに加えて、壁面の断熱性や遮音性の効果もある。しかし最大のポイントは景観の向上に重要な役割を果たすことである。

半面、壁面緑化のデメリットはコストが高いことだ。建築物の防水、防根対策をしっかりとしなければならぬことや、気候などの相性から植物を選び、荷重制限を考慮した土

りつつある。しかし、目に涼しい、リラックス効果があるなどの心理的なメリットを併せ持つ緑の景観は代え難い。

緑豊かな住宅街は人気が高く、植物を上手に取り入れたオフィス街はおしゃれで魅力的だ。近年、大阪府では、緑の多さは住環境の向上のために重要として、緑視率の考え方を導入し、目に見える植物の緑の面積を増やす取り組みをしている。目には

【教員のコメント】環境配慮型建物に関心が高い。格付け制度も複数で融資条件とする金融機関もある一方、普及ははかばかしくない。投資に見合わず、風流は(採算的に)寒き物だが、壁面緑化景観人気投票をして名誉をあげてはどうか。

見えるという点では壁面緑化の効果は大きい。壁面緑化の普及を官に頼るだけでは十分でない。メーカーには商品開発の加速を期待する。ビルオーナーの意識改革も不可欠だ。しかし、一番の推進力は私たち建物利用者が「いいね」と意思表示することだ。